一般社団法人日本医療薬学会
2022年度第4回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2022年8月29日（月） 13時00分 ～ 16時30分

二．開催場所： ハイブリッド開催（事務局会議室＋Zoom を利用したウェブ会議）

三．出席者

会 頭： 山本 康次郎
理 事： 石澤 啓介、富岡 佳久
以下の出席者は、Zoomを利用したウェブシステムにより参加した。
副会頭： 石井 伊都子、寺田 智祐、百瀬 泰行
理 事： 池田 龍二、伊藤 清美、齋藤 秀之、佐藤 淳子、
佐野 俊治、関根 祐子、豊見 敦、
花輪 剛久、濱浦 健司、宮﨑 長一郎、村木 優一、矢野 育子
監 事： 奥田 真弘、望月 眞弓、安原 眞人
顧 問： 山本 信夫、和田 一夫

陪席者
年会長： 三浦 昌朋 （第33回年会）
事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、針生 裕子、田中 結寿、大湊 宏味
欠席者
理 事： 田﨑 嘉一、中村 敏明、
顧 問： 五十嵐 邦彦、武田泰生

四．議長： 山本 康次郎

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 18 名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1．2022年度第3回定例理事会議事録の確認

議長より、2022年7月8日に開催された2022年度第3回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

2．協議事項

(1) 2023 年度事業計画（案）

2023 年度の事業計画案について、富岡理事より、前回理事会で提案された内容

を各委員会に再確認の上、最終案が説明された。協議の結果、意見等ある場合は 1 週間以内連絡すること、また、最終決定については総務委員長および会頭・副会頭に一任された上で第 14 回臨時社員総会に諮ることとなった。

(2) 2023 年度予算（案）

財務委員長より、2023 年度予算案について、前回理事会で提示された内容からの変更点が説明された。協議の結果、本案は了承され、第 14 回臨時社員総会に諮ることとなった。

(3) 第14回臨時社員総会・学会賞表彰式 に係る運営

事務局より、社員総会および学会賞表彰式の運営についての説明と関係者への出席依頼があった。本総会は第 32 回年会の 2 日目に現地で開催するが、欠席する代議員に限定してオンライン（ライブ）配信することとした。なお、表彰式は現地のほか、年会の１つのプログラムとして年会参加者がライブで視聴できることなどが説明され、了承された。

(4) 2022 年度専門薬剤師認定試験の合否判定

石澤理事より、2022年度専門薬剤師認定試験の合否判定について、専門薬剤師認定試験小委員会ならびに専門薬剤師制度運営委員会での協議結果を基に、判定の背景や決定に至った理由が説明された。協議の結果、本判定結果は承認され、専門薬剤師認定試験および生涯学習達成度確認試験の受験者全219名のうち141名が合格と判定された。

(5) 会員細則の改正

宮崎理事より、会員細則の改正について説明がされた。一部文言について、誤解を招かないような表現に修正し、後日メール審議に諮ることとなった。

(6) 将来計画検討委員会等の委員長の選任

議長より、新たに編成される将来計画検討委員会およびその下部組織の小委員会、情報システム整備委員会、医療安全対策委員会、人事委員会、ダイバーシティ推進委員会（仮称）と、総務委員会の下部組織となる年会長候補者選考小委員会、事務局会議室改装検討WGの各組織編成案が示され、協議した結果、次のとおりとなった。

・将来計画委員会： 委員長は会頭、委員は各副会頭、総務・財務各委員長他
・将来計画委員会の下部組織： 委員は中堅・若手に参画していただく
・情報システム整備委員会： 委員長は中村理事
・医療安全対策委員会： 委員長は矢野理事
・人事委員会： 委員長は会頭、委員は各副会頭、総務・財務各委員長
・ダイバーシティ推進委員会（仮称）： 委員長は石井副会頭
・年会長候補者選考小委員会： 委員長は総務委員長

・事務局会議室改装検討WG： 委員長は総務委員長、委員として総務・財務担当副会頭、財務委員長、情報システム整備検討委員会委員長、他

なお、ダイバーシティ推進委員会の名称については、意図が伝わる名称の検討（「多様性」を併記する等）を今後検討することし、石井副会頭のもとで活動方針、その詳細などを決定することとなった。

(7) 2023-2024年度代議員選挙管理委員会、同代議員候補者推薦委員会の編成

富岡理事より、2023-2024年度の代議員選挙管理委員会および代議員候補者推薦委員会の組織案について説明があり、協議した結果、前者は朝賀純一氏、杉山奈津子氏、鈴木裕之氏、仁木一順氏、西垣貴司氏の５名で編成され、後者は出石啓治氏、大谷壽一氏、河原昌美氏、吉光寺敏泰氏、崔吉道氏の5名で編成されることが了承された。

(8) 2023 2024 年度代議員選挙 公示案の確認

富岡理事より、代議員選挙に係る公示案について、最終的には代議員選挙管理委員会で決定されるものであるが、理事会の意見があれば修正対応を検討することが説明された。本案については意見がなかった。

(9) 専門薬剤師認定試験小委員会委員の交代に伴う追加委嘱

石澤理事より、専門薬剤師認定試験小委員会委員の交代として、百賢二氏に代わり平大樹氏を追加委嘱することが報告され、承認された。

(10) 会議室の地位承継に関する覚書の締結

富岡理事より、日病薬が借用していた会議室の地位承継に係る覚書締結書についての説明があり、近日中に賃借人の代理人である三菱ＵＦＪ信託銀行、日本病院薬剤師会、日本医療薬学会の三者での本覚書の締結を進めることが説明された。本件は了承された。

(11)「公開シンポジウム　薬剤師のプロフェッショナリズムを考える」の共催

奥田監事より、1月22日に開催予定の同シンポジウムの開催趣旨や内容についての説明があり、本学会が主催者（日本薬学会、日本学術会議薬学委員会との共同開催）に加わることへの諾否が諮られた。協議の結果、共催は承認された。なおプログラムに対する意見があり、薬学の社会適用の観点から、医療現場の薬剤師の視点・あり方が含まれていない主旨の意見があり、持ち帰り検討されることになった。

(12) 厚労科研「病院薬剤師のキャリアパス調査」 への協力

安原監事より、調査についての概要の説明がなされ、本学会への協力要請があった。薬剤師が学術活動を継続する上での障害や影響因子を明らかにすることを目的としており、本学会としても一般的にも重要な内容となることから、協議の結果、調査協力に対し承認された。被験者への協力依頼方法等、詳細については今後相談・検討されることとなった。

(13) 薬系学会等との連携に係る検討

議長より薬系学会等との連携に係る協議に係る事項として、連合団体設立については準備委員会で継続的に検討が進められており、今後は目的や活動内容、具体的な事業の構成等について協議予定であることが報告された。

(14) 第15回定時社員総会の開催計画案（2023年3月開催）

事務局より、第15回定時社員総会を来年3月中旬～下旬の開催に向け、開催形態、場所及び日程に係る意見伺いがあった。

開催形態は、対面での協議を基本としつつ、オンラインでもディスカッションできる形が望ましいとされたが、日程や場所について、従前のように日本薬学会年会の開催に合わせること又は別日程や別開催地での開催が望ましいという意見も多く決定には至らなかった。協議の結果、日本薬学会年会の初日に札幌市で開催する、同薬学会年会とは別日程・別会場で開催する、オンラインのみで開催する3通りの意見が多く、次回理事会で再度協議し、決定することとなった。

(15)前年度会費遡及納入に係る嘆願への対応　(1件)

宮﨑理事より、前年度会費の訴求納入嘆願について、会員委員会での審議結果と承認の求めがあり、協議の結果、了承された。

(16)「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」

議長より、日本学術会議から「学術の中長期研究戦略」の公募が開始された件について、本学会としての対応（提案有無）について理事への意見伺いがなされた。また、望月監事・奥田監事から内容や経緯について補足説明がなされ、当該公募を元に作成される「学術研究構想」のリストには薬学領域のものが含まれることが望ましいこと、提案は他団体と連携したものでも可であることが説明された。議長より各理事には、公募説明会の動画を確認の上、今後2週間程度の期間で意見があれば提示いただきたい旨の要請があった。

3. 報告事項

(1) 第 32 回年会（高崎）準備状況報告

議長（32回年会長）より、本年9月に開催される第32回年会の準備状況について、プログラムの概要や配置等の報告があった。

(2) 専門薬剤師制度委員会からの報告

石澤理事より、2022年度第2回専門薬剤師制度委員会の検討内容について以下が報告された。主な事項は次の通り。

・専門薬剤師支援システムの構築に係る検討の進捗状況
・医療薬学専門薬剤師の連携研修に係る取り扱い（研修スキームの整備）
・2022 年度専門薬剤師認定試験・生涯学習達成度確認試験の合否判定結果
・新規申請前の休職、休業、留学等に係る取り扱い（症例報告の期間の整備）

・連携研修に係る会員資格の取り扱い
・薬物療法専門薬剤師集中講義の実施方法(開催形態、講義時間、受講料等の検討)
・2023 年度各専門薬剤師制度の申請・審議及び認定スケジュール案
・他の専門薬剤師制度への移行時における認定試験の免除について

(3) JPHCS 誌に係るインパクトファクターの取得に関する報告

村木理事より、来年6月発表分より、JPHCS誌にインパクトファクターが付与されること及びその経緯が報告された。

(4)「がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン2022 」のアンケート結果報告

寺田理事より、「がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン2022」の作成に伴い実施された「『がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン2016』の使用に関する実態調査」について、回答者への御礼が伝えられるとともに、結果が報告された。

(5) 後援依頼への回答 (3件)

議長より、以下の後援依頼申請を承認したことが報告された。
・第7回日本老年薬学会学術大会 (日本老年薬学会)
・第25回、第26 回アップデート教育コース (日本癌治療学会)

(6) 委員会開催報告

第 1 回会員委員会の開催報告があった。

(7)その他

奥田監事より、文部科学省主催の「薬学系人材養成の在り方に関する検討会 (第3回)」について報告があり、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」の改訂に係る検討状況が報告されるとともに、「6 年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」の公表内容について説明がなされた。

事務局からは、会員数の推移について資料をもって報告された。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は 16 時 30 分に閉会を宣言し、解散した。